【授業科目】基礎セミナーⅡ(応用)　　Basic Seminar Ⅱ （advanced）

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
柴田 英治、杉崎 一美、大林 陽子 ダニエル・カーク、工藤 安史 別所 史子、藤井 夕香	１年次 後　期	必 修	1	３０	演　習	あり	巻末 掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／基礎セミナーⅠの学習を踏まえて、保健看護医療福祉の分野から、個人またはグループで関心のあるテーマを選び、関連した文献を読み、グループディスカッション等を通し、考察を深め、プレゼンテーション、レポート作成を行う。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて公開する。
実務経験に関する 授業内容	医療に関わっている教員および医療に対する研究をしている教員が、基礎セミナーⅠで学んできたスキルを活用して、自ら課題を探求し、その内容をプレゼンテーションやレポートとして具現化する科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①保健看護医療福祉の分野から自分やグループの関心のあるテーマについて、文献等の的確な資料収集ができる。 ②収集した資料を論理的にまとめ、レポートを作成することができる。 ③グループでテーマを選び、ディスカッション、ディベートなどの方法を通して意見発表、意見交換を行い、テーマの考察の広がり・深まりを学ぶとともに、グループ内での役割を理解することができる。 ④この学習を通して学んだ方法について看護学をはじめとする他の科目の学習に活用することができる。
時間外学習に必要な 内容・時間	第１回～第 15 回　事前学習：基礎セミナーⅠで学んだことを復習しておく（各 30 分） 特に、参考資料の見つけ方、レポートの書き方は、必ず事前学習しておく。 ②課題に関する文献検索、発表のための資料・要約の作成は個人で行っておくこと。 文献検索は、インターネット上の資料に偏らないこと。専門雑誌や図書を活用する。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1.　オリエンテーション 自己紹介　授業の進め方等 2-4.　健康・看護・医療・福祉等に関するテーマを見つける 健康・看護・医療・福祉等に関する様々な疑問・問題・課題を話し合う その中で関心あるテーマ・課題を絞る 5－8.　テーマ・課題に関する文献検討、ディスカッション等を行い、考察を深める。 9－10.　発表方法の検討、発表の資料づくり 11－13.　プレゼンテーション、意見交換 14－15.　グループ討議、レポート作成 担当教員が、それぞれクラス毎に全ての回を担当
評価方法 評価基準	レポート 40%、プレゼンテーション 40%、グループワーク 20% で、総合的に評価する。
教科書	学習技術研究会『知へのステップ－大学生からのスタディ・スキルズ－第５版』くろしお出版 （「基礎セミナーⅠ」で使用したもの） 参考書等：講義のなかで適宜紹介する。
学生への 助言等	現代社会における健康・保健・医療・看護・福祉等の課題に目を向け、グループディスカッションや文献検討等を通して広く考えて欲しい。また、レポートの書き方（テーマの設定、レポートの構成、資料や文献の活用法など）をしっかりと習得されたい。その学びの中から、論理的にまた実証的に考える態度を身につけることを期待したい。